

森づくりアドバイザーと 地域おこし協力隊員を任命

市は4月1日付で、「庄原市森づくりアドバイザー」として坂部廣和さんを任命しました。

森づくりアドバイザーは、本年度新たに設置した職で、任期は1年間（再任可能）、本市の森づくりや本年4月から新たに開始された森林経営管理制度の円滑な推進を目的として、モデル林を目指した森林整備や、地域木材の有効活用の推進およびブランド化などの普及啓発、森林整備を担う人材育成などについて、助言、指導を行うこととしていきます。

庄原市森づくりアドバイザーとの連携により、県内最大の森林面積を有し、伐採期を迎えた豊富な針葉樹が存在する本市において、将来を見据えて「森林資源を生かす森づくり」に取り組んでいきます。

問い合わせ

商工林業課 ☎ 0824・73・1124



坂部廣和さん(写真左)

写真は、国土緑化推進機構「森の名手・名人」認定を木山市長へ報告時(広報しよばら2018年11月号20ページ参照)

また同日付で、庄原市地域おこし協力隊員として3人を任命しました。3人とも、昨年度に引き続きの任用となります。

臼井拓哉さんは、いちばんづくり課で比婆いざなみ街道物語の推進やドローン活用推進にかかる業務に、中谷浩二さんは、商工林業課で木の駅プロジェクト事業の推進に、佐々木宏知さんは、東城支所産業建設室で農産物や加工品など地元産品の現状を分析するための市場調査に従事します。

全員が任用の最終年度となり、それぞれの活動に従事しながら、地域の活性化に取り組んでいきます。

問い合わせ

自治定住課 ☎ 0824・73・1257



左から中谷浩二さん、臼井拓哉さん、佐々木宏知さん

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎ 0824・72・0110

特殊詐欺に注意しましょう！

全国で1日当たり約1億円の被害

平成30年中の特殊詐欺による被害金額は、広島県内で約3億5千万円、全国では約357億円でした。

最も多い手口は「架空請求詐欺」

昨年、県内で最も被害の多かった手口は「架空請求詐欺」で、携帯電話に有料サイトなどの料金を請求するメールを送りつけ、コンビニで電子マネーを購入させて支払わせるものです。

被害は若者にも

高齢者だけではなく、若者を含む幅広い世代の方が被害に遭っています。

犯人がよく使う言葉を知っておきましょう！

- ▼ 有料サイトの未納がある
- ▼ あなたには老人ホーム入居権がある
- ▼ 名義貸しは犯罪だ
- ▼ 裁判になる・逮捕される
- ▼ キャッシュカードを預かる
- ▼ コンビニで電子マネーを購入して払って
- ▼ お金を宅配便で送って

こんな手口にも注意！

改元詐欺

新元号が発表されました。これに伴って「元号が変わるのでキャッシュカードを変更する必要がある」などという電話をかけてきて、キャッシュカードをだまし取る詐欺が発生しています。犯人は、改元に便乗してあなたのお金を狙っています。

アポ電話

県外で、犯人からの電話に対して、自宅の現金保管状況などの資産状況を言葉巧みに聞かれて教えてしまい、後日、自宅に押し入れられ、現金などの強盗被害に遭う事件が発生しました。

今後、県内でも高齢者などを狙った同じ手口の事件発生が懸念されますので、電話などで個人情報や現金などの保管状況を尋ねられても、決して答えないようにしてください。

☆電話で突然お金の話があったら、必ず誰かに相談しましょう。

☆不審な電話があったり、はがきが届いたりしたときは、警察に相談してください。